| 科目 | 真宗学概説 | 開講時期 履修方法 | 2 年前期 必修、専門科目 |
|-----------------------|--|--------------|---|
| 担当者 | 中島航 | 授業形態 単位数 | 講義 2単位 |
| 授業概要 | 私たちは自分の思いに先立って願われている存在である。そのことを『大無量寿経』本ぶ。読解・講義・確認・攻究・発表を行う内容とする。 本授業は仏教学科の学習成果(1)に対応する。 | 願文(第十 | - −二願から第十六願)から学 |
| 到達目標 | 本願文の学習を通して、すべての科目の基本軸として、出遇うべき仏教の精神を確認す | ることがで | できる。 |
| 学習成果の 評価基準 | 講義の準備、講義中、また学習・攻究において積極的な学びができているかを確認し許学期末に学びの振り返りとしてレポート試験を実施する。 | ☑価する。 | |
| | 授業計画(授業内容) | | 授業時間外学習 予習・復習 |
| 1 . | ガイダンス 授業の進め方について | 間) | ア音・授音 : 「授業要覧」を読む (2時 復習:授業の振り返り、疑問 :認する (2時間) |
| 2 . | 第一願から第十一願を振り返って 講義 | 予習 復習 | a: テキストを読む(2時間) a: 授業の振り返り、疑問を確 a(2時間) |
| 3. | 第一願から第十一願を振り返って 確認 | 予習 復習 | 』: テキストを読む(2時間) 習: 授業の振り返り、疑問を確 ⁻ る(2時間) |
| 4 . | 第一願から第十一願を振り返って 学習・攻究 | 予習 復習 | ∃:テキストを読む(2時間) 閏:授業の振り返り、疑問を確 ⁻ る(2時間) |
| 5. | 第十二願 光明無量の願 講義 | │復習 | 3:テキストを読む(2時間) 3:授業の振り返り、疑問を確 ⁻ る(2時間) |
| 6. | 第十二願 光明無量の願 学習・攻究 | 復習 | 3:テキストを読む(2時間) 3:授業の振り返り、疑問を確 「る(2時間) |
| 7. | 第十三願 寿命無量の願 講義 | 復習 認す | 習:テキストを読む(2時間) 習:授業の振り返り、疑問を確 ⁻ る(2時間) |
| 8. | 第十三願 寿命無量の願 学習・攻究 | 復習 認す | ∃:テキストを読む(2時間) ∃:授業の振り返り、疑問を確 ⁻る(2時間) |
| 9. | 第十四願 声聞無数の願 講義 | 復習 認す | !:テキストを読む(2時間) :授業の振り返り、疑問を確 る(2時間) |
| 10 . | 第十四願 声聞無数の願 学習・攻究 | 復習 認す | 』: テキストを読む(2時間) 習: 授業の振り返り、疑問を確 ⁻ る(2時間) |
| 11 . | 第十五願 眷属長寿の願 講義 | 復習 認す | 』: テキストを読む(2時間) ☑: 授業の振り返り、疑問を確 「る(2時間) |
| 12 . | 第十五願 眷属長寿の願 学習・攻究 | 復習 認す | : テキストを読む (2時間) : 授業の振り返り、疑問を確 る (2時間) |
| 13 . | 第十六願無諸不善の願講義 | 復習 認す | 3:テキストを読む(2時間) 3:授業の振り返り、疑問を確 -る(2時間) |
| 14 . | 第十六願 無諸不善の願 学習・攻究 | 復習 認す | 3:テキストを読む(2時間) 3:授業の振り返り、疑問を確 る(2時間) |
| 15 . | まとめ | 復習 | 日:テキストを読む(2時間) 日:授業の振り返り、疑問を確 「る(2時間) |
| 教科書 | 『本願文』(大阪教区伝研の会)、『真宗聖教全書一』、『真宗聖典』 | | |
| 参考書 | 『新漢語林』、『岩波仏教辞典』 | | |
| 学習成果の評価方法 | 受講態度(50%) 授業内発表(20%) 定期試験(30%) | | |
| | 各授業において予習2時間、復習2時間を必要とする。 | | |
| 事 項 質問・相終 の 受 付 | | | |

| 科目 | 真宗学概説 | 開講時期履修方法 | 2 年後期 必修、専門科目 |
|---------------|--|------------------|--|
| 担当者 | 中島航 | 一 授業形態 単位数 | 講義 2単位 |
| 授業概要 | 私たちは自分の思いに先立って願われている存在である。そのことを『大無量寿経』 学ぶ。読解・講義・確認・攻究・発表を行う内容とする。 本授業は仏教学科の学習成果(1)に対応する。 | —> | |
| 到達目標 | 本願文の学習を通して、すべての科目の基本軸として、出遇うべき仏教の精神を確認 | ますることが で | できる。 |
| 学習成果の 評価基準 | 講義の準備、講義中、また学習・攻究において積極的な学びができているかを確認し 学期末に学びの振り返りとしてレポート試験を実施する。 | シ評価する。 | |
| | 授業計画(授業内容) | | 授業時間外学習 予習・復習 |
| 1 . | 第十七願 諸仏称名の願 講義 | 復習 | プ白・15日 習:テキストを読む(2時間) 習:授業の振り返り、疑問を確 「る(2時間) |
| 2 . | 第十七願 諸仏称名の願 学習・攻究 | 予習 復習 | 3 (Zeigle) / 習:テキストを読む (2時間) 冒:授業の振り返り、疑問を確 「る (2時間) |
| 3 . | 第十八願 至心信楽の願 講義 | 予習 復習 | 3(2 ^{250周)} 習:テキストを読む(2時間) 冒:授業の振り返り、疑問を確 「る(2時間) |
| 4 . | 第十八願 至心信楽の願 講義 | 予習 復習 | 3(2時間) 習:テキストを読む(2時間) 習:授業の振り返り、疑問を確 「る(2時間) |
| 5 . | 第十八願 至心信楽の願 学習・攻究 | 予習 復習 | 3 (2時間) 習:テキストを読む(2時間) 習:授業の振り返り、疑問を確 る(2時間) |
| 6 . | 第十九願 至心発願の願 講義 | 予習 | 3 (2 Hylla) 習:テキストを読む (2 時間) 習:授業の振り返り、疑問を確 ⁻ る (2 時間) |
| 7 . | 第十九願 至心発願の願 学習・攻究 | 予習 復習 | 3 (Z=g)la) / 習:テキストを読む (2時間) 習:授業の振り返り、疑問を確 ⁻ る (2時間) |
| 8. | 第二十願 至心回向の願 講義 | 予 習 復習 | 3: テキストを読む(2時間) 3: 授業の振り返り、疑問を確 ⁻ る(2時間) |
| 9. | 第二十願 至心回向の願 学習・攻究 | 予習 復習 | 3 : テキストを読む(2時間) 3 : 授業の振り返り、疑問を確 「る(2時間) |
| 10 . | 第二十一願 具三十二相の願 講義 | 予習 復習 | 3: テキストを読む(2時間) 3: 授業の振り返り、疑問を確 る(2時間) |
| 11 . | 第二十一願 具三十二相の願 攻究 | 予 習 復習 | 3 : テキストを読む(2時間) 習:授業の振り返り、疑問を確 「る(2時間) |
| 12 . | 第二十二願 還相回向の願 講義 | 予習 復習 | 3: テキストを読む(2時間) 3: 授業の振り返り、疑問を確 る(2時間) |
| 13 . | 第二十二願 還相回向の願 講義 | 予 習 | 3: テキストを読む(2時間) 3: 授業の振り返り、疑問を確 る(2時間) |
| 14 . | 第二十二願 還相回向の願 学習・攻究 | 予習 復習 | 3: テキストを読む(2時間) 3: 授業の振り返り、疑問を確 る(2時間) |
| 15 . | まとめ | 予 習 復習 | 3 : テキストを読む(2時間) 3 : 授業の振り返り、疑問を確 5 る(2時間) |
| 教科書 | 『本願文』(大阪教区伝研の会)、『真宗聖教全書一』、『真宗聖典』 | 1 40 7 | |
| 参考書 | 『新漢語林』、『岩波仏教辞典』 | | |
| 学習成果の 評価方法 | 受講態度(50%) 授業内発表(20%) 定期試験(30%) | | |
| 特記すべき事項 | 各授業において予習2時間、復習2時間を必要とする。 | | |
| 買問·相筹 | | | |

| 科目 | 教行信証概説 | 開講時期 履修方法 | 2 年前期 必修、専門科目 |
|-----------------------------------|---|--------------------------------|--|
| 担当者 | 青木 玲 | 授業形態 単位数 | 講義 2単位 |
| 授業概要 | 親鸞の主著『顕浄土真実教行証文類』(『教行信証』)を読むことを通して、親鸞/序」を読んでいく。 本授業は仏教学科の学習成果(1)に対応する。 | | |
| 到達目標 | 『教行信証』「総序」の内容が理解できるようになる。 本授業によって、仏教学科の学習成果(1)を得ることができる。 | | |
| 学習成果の 評価基準 | 到達目標に達しているか確認するために、到達目標確認試験を行い評価する。 | | |
| | 授業計画(授業内容) | _ | 授業時間外学習 予習・復習 |
| 1 . | 授業概要 | 復習 | 3:「総序」を読む(2時間) 3:授業を振り返り、疑問点を 3する(2時間) |
| 2 . | 『教行信証』の概要 | 予習 復習 | 2:「総序」を読む(2時間) 習:授業を振り返り、疑問点を 図する(2時間) |
| 3 . | 『教行信証』の概要 | 予習 復習 | 3.2 0、2时間) 習:「総序」を読む(2時間) 習:授業を振り返り、疑問点を 恐する(2時間) |
| 4 . | 「総序」の構成 | 予習 復習 | 智:「総序」を読む(2時間) 習:授業を振り返り、疑問点を |
| 5 . | | 予習 復習 | 烈する(2時間) 習:「総序」を読む(2時間) 習:受終を振り返り、疑問点を |
| 6. | 業思の弘誓と無碍の光明 | 予 予 復 復 | 図する(2時間) 習:「総序」を読む(2時間) 図:授業を振り返り、疑問点を |
| 7. | 単思の弘誓と無碍の光明 | 予習 復習 | 3する(2時間) 3:「総序」を読む(2時間) 3:授業を振り返り、疑問点を 3する(2時間) |
| 8 . | □──────────────────────────────────── | 予 予 復 習 | 智:「総序」を読む(2時間) 習:授業を振り返り、疑問点を |
| 9 . | 』 | 予習 | 烈する(2時間) 習:「総序」を読む(2時間) 図:授業を振り返り、疑問点を 図まえく2時間と |
| 10 . | 逆謗闡提を恵まんと欲す | 予 習 復習 | 烈する(2時間) 習:「総序」を読む(2時間) 冒:授業を振り返り、疑問点を 7オス(2時間) |
| 11 . | 円融至徳の嘉号と難信金剛の信楽 | 予 習 復習 | 3する(2時間) 3:「総序」を読む(2時間) 3:授業を振り返り、疑問点を 3する(2時間) |
| 12 . | 円融至徳の嘉号と難信金剛の信楽 | 予 習 復習 | 智:「総序」を読む(2時間) 習:授業を振り返り、疑問点を |
| 13 . | 円融至徳の嘉号と難信金剛の信楽 | 予 予 復 | 烈する(2時間) 習:「総序」を読む(2時間) 習:授業を振り返り、疑問点を 7.オス(2時間) |
| 14 . | 到達目標確認試験 | 予 習 復習 | 烈する(2時間) 習:「総序」を読む(2時間) 記:授業を振り返り、疑問点を ロナス(20世間) |
| 15 . | 前期のまとめ | 予 習 復習 | 烈する(2時間) 習:「総序」を読む(2時間) 習:授業を振り返り、疑問点を フォス(2時間) |
| 教科書 | 『真宗聖典』 | 1年部 | 烈する(2時間) |
| 参考書 学習成果の | 受講態度 (50%) 到達目標確認試験 (50%) | | |
| 字画成素の 評価方法 特記すべき 事 項 | | | |
| 重 頃 質問・相談等 の 受 付 | | | |

| 科目 | 教行信証概説 | 開講時期 履修方法 | |
|---------------|--|--------------------------------------|---|
| 担当者 | 青木 玲 | 授業形態 単位数 | 講義 2単位 |
| 授業概要 | 親鸞の主著『顕浄土真実教行証文類』(『教行信証』)を読むことを通して序」と「後序」を読んでいく。 本授業は仏教学科の学習成果(1)に対応する。 | | |
| 到達目標 | 『教行信証』「別序」「後序」の内容が理解できるようになる。 本授業によって、仏教学科の学習成果(1)を得ることができる。 | | |
| 学習成果の 評価基準 | 到達目標に達しているか確認するために、到達目標確認試験を行い評価する | 5. | |
| | 授業計画(授業内容) | | 授業時間外学習 予習・復習 |
| 1 . | 「別序」の構成 | │復習 | 望:「別序」を読む(2時間) 習:授業を振り返り、疑問点: 恐する(2時間) |
| 2. | 「如来選択の願心」と「大聖矜哀の善巧」 | 予習 復習 | 2:「別序」を読む(2時間) 習:授業を振り返り、疑問点 認する(2時間) |
| 3 . | 「如来選択の願心」と「大聖矜哀の善巧」 | 予習 | 3.2 G. (2日間) 習:「別序」を読む(2時間) 習:授業を振り返り、疑問点 習する(2時間) |
| 4 . | 沈迷の二機 | 予習 | 3.2 G (2時間) 習:「別序」を読む(2時間) 習:授業を振り返り、疑問点 習する(2時間) |
| 5 . | 「愚禿釈親鸞」の名のり | 予習 | 3.5 0 (2時間) 習:「別序」を読む(2時間) 習:授業を振り返り、疑問点 習する(2時間) |
| 6 . | しばらく疑問を至してついに明証を出だす | 予 [1 1 1 1 1 1 | 3:「別序」を読む(2時間) 3:授業を振り返り、疑問点 |
| 7. | しばらく疑問を至してついに明証を出だす | 予習 | 3する(2時間) 3:「別序」を読む(2時間) 3:授業を振り返り、疑問点 3する(2時間) |
| 8. | 毀謗を生ずることなかれ | 予 予 復 | 39 3(2 45 1日) 3:「別序」を読む(2時間) 3:授業を振り返り、疑問点 3する(2時間) |
| 9. | 「後序」の構成 | 予 予 復 | 393 (^{とPG} IB) 冒:「後序」を読む(2時間) 冒:授業を振り返り、疑問点: Bする(2時間) |
| 10 . | 承元の法難 | 予習 | 89 0 (2時間) 習:「後序」を読む(2時間) 習:授業を振り返り、疑問点: 忍する(2時間) |
| 11 . | 承元の法難 | 予 予 復 | 39 3 (21년回) 冒:「後序」を読む(2時間) 冒:授業を振り返り、疑問点 [:] 忍する(2時間) |
| 12 . | 雑行を棄てて本願に帰す | 予 [1 1 1 1 1 1 | 89 G (21时间) 冒:「後序」を読む(2時間) 冒:授業を振り返り、疑問点: 忍する(2時間) |
| 13 . | 雑行を棄てて本願に帰す | 予 予 復 | 39 G (2吋回 <i>)</i> 冒:「後序」を読む(2時間) 冒:授業を振り返り、疑問点 忍する(2時間) |
| 14 . | 到達目標確認試験 | 予 [1 1 1 1 1 1 | 89 G (2时回) 冒:「後序」を読む(2時間) 冒:授業を振り返り、疑問点 忍する(2時間) |
| 15 . | 後期のまとめ | 予 予 復 | 39 る(2時間) 冒:「後序」を読む(2時間) 冒:授業を振り返り、疑問点 忍する(2時間) |
| 教科書 | 『真宗聖典』 | 11 世前 | ン の (Ch 社旧) |
| 平価方法 | 受講態度(50%) 到達目標確認試験(50%) | | |
| 記すべき 事 項 | | | |

| 科目 | 真宗学 | 開講時期 2年前期 履修方法 選択、専門科目 |
|-------------------------------|--|---|
| 担当者 | 安武智丸 | 授業形態 講義 単位数 2単位 |
| 授業概要 | インド・中国・日本三国の七祖は、それぞれの時代・社会が提起する人間の課題をもったえる道が本願念仏の教えであることを身をもって頷かれた。しかも七祖はそれぞれ「真宗の伝統を培われた。その七祖のうち『正信偈』によって龍樹・天親・曇鸞三師が明本授業は仏教学科の学習成果(1)に対応する。 | 「前を訪ね、後を導く」ことで呼応し、 |
| 到達目標 | 大乗仏教の課題と展開および基礎概念を把握した上で、宗祖親鸞聖人の仏教史観を理解 | 望する。 |
| 学習成果の 評価基準 | 到達目標の達成度を測るため、定期試験を実施し、6割以上の正答を求める。 | |
| | 授業計画(授業内容) | 授業時間外学習 予習・復習 |
| 1 . | ガイダンス 大乗仏教の興隆と課題 | 予習:『大乗の仏道』を読む(2 時間) 復習:授業を振り返る(2時間) |
| 2 . | 本願名号のあゆみ ーよきひとのおおせー | 予習:『浄土の真宗』を読む(2 時間) |
| 3 . | | 復習:授業を振り返る(2時間) 予習:『浄土の真宗』を読む(2 時間) |
| 4 . | 龍樹菩薩 龍樹の生きた時代とその学び | 復習:授業を振り返る(2時間) 予習:『浄土の真宗』を読む(2 時間) |
| 5. | 龍樹菩薩 釈尊を受け継ぐもの 一有無の見を破る一 | 復習:授業を振り返る(2時間) 予習:『浄土の真宗』を読む(2 時間) |
| 6 . | 龍樹菩薩 易行道を開く | 復習:授業を振り返る(2時間) 予習:『浄土の真宗』を読む(2 時間) |
| 7 . | 龍樹菩薩 必定に入る | 復習:授業を振り返る(2時間) 予習:『浄土の真宗』を読む(2 時間) 復習:授業を振り返る(2時 |
| 8 . | | 15 15 15 15 15 15 15 15 |
| 9 . | 天親菩薩 浄土を明かす 一願生浄土一 | 予習:『浄土の真宗』を読む(2 時間) 復習:授業を振り返る(2時 |
| 10 . | 天親菩薩 空過を超える 一本願力に遇う一 | 勝 <u>島・18</u> (18 (18 (18 (18 (18 (18 (18 (18 (18 (18 |
| 11 . | 天親菩薩 成仏の門 一五念門一 | 予習: 『浄土の真宗』を読む(2 時間) 復習:授業を振り返る(2時間) |
| 12 . | 曇鸞大師 曇鸞の生きた時代とその学び | 予習:『浄土の真宗』を読む(2 時間) 復習:授業を振り返る(2時間) |
| 13 . | | 予習:『浄土の真宗』を読む(2 時間) 復習:授業を振り返る(2時間) |
| 14. | | 接自: 放業で派り返る(2時間) 予習: 『浄土の真宗』を読む(2時間) (復習:授業を振り返る(2時間) |
| 15 . | | 接自: 技業を振り返る(2時間) 予習: 『浄土の真宗』を読む(2 時間) 復習: 授業を振り返る(2時間) |
| 教科書 | 『真宗聖典』、『真宗聖教全書一』、『大乗の仏道』、『浄土の真宗』、『正信偈』 | |
| 参考書 学習成果の | 受講態度(30%) 授業内課題(10%) 定期試験(60%) | |
| 宇宙成来の 評価方法 特記すべき 事 項 | A STATE OF THE COLOR OF THE COL | |
| 野・植り の 受 付 | | |

| 科目 | 真宗学 | 開講時期履修方法 | 2 年後期 選択、専門科目 |
|---------------|--|--------------------------|---|
| 担当者 | 安武智丸 | 授業形態 単位数 | 講義 2単位 |
| 授業概要 | 親鸞聖人は七祖を、その役割の上から論家と釈家に分けている。論家とは龍樹・天親・信・源空の下四祖をいう。特に下四祖は、「未法五濁」という時代社会と、そこに生きの教説にたずね、その課題に応える道が本願念仏の教えであることを身をもって頷いして学んでいく。本授業は仏教学科の学習成果(1)に対応する。 | 曇鸞の上三 る「凡夫」 ていかれた。 | 祖、釈家とは道綽・善導・源 という人間存在の課題を釈尊 その一端を『正信偈』を通 |
| 到達目標 | 『正信偈』道綽章・善導章・源信章・源空章の内容を理解できる。平易な漢文を訓読 と思想の概要を理解できる。 | できる。道糸 | 卓・善導・源信・源空の伝記 |
| 学習成果の 評価基準 | 定期試験において、6割以上の解答ができることを以て、到達目標を達成していると記 | 平価する。 | |
| | 授業計画(授業内容) | | 授業時間外学習 予習・復習 |
| 1. | 道綽禅師 聖道門と浄土門 「道綽決聖道難証 唯明浄土可通入」 | おく | 冒:『正信偈』道綽章を読ん ((2時間) 冒:授業を振り返る(2時間) |
| 2 . | 道綽禅師 他力の念仏 「万善自力貶勤修 円満徳号勧専称」 | 予習 | 冒:『正信偈』道綽章を読ん [*] 、(2時間) |
| 3 . | 道綽禅師 三不三信の教え 「三不三信誨慇懃 像末法滅同悲引」 | 予習 | 書:授業を振り返る(2時間) 習:『正信偈』道綽章を読ん 、(2時間) |
| 4 . | | | 3:授業を振り返る(2時間) 3:『正信偈』道綽章を読ん (2時間) |
| | | | 3:授業を振り返る(2時間) 3:『正信偈』善導章を読ん |
| 5 . | 「善導独明仏正意」 | 復習 | ((2時間) 習:授業を振り返る(2時間) 習:『正信偈』善導章を読ん |
| 6. | 「 | おく 復習 | ((2時間) 3:授業を振り返る(2時間) 3:『正信偈』善導章を読ん |
| 7. | 「開入本願大智海 行者正受金剛心」 | おく 復習 | (2時間) 習:授業を振り返る(2時間) |
| 8. | 善導大師 慶喜の一念 「慶喜一念相応後 与韋提等獲三忍 即証法性之常楽」 | おく | 習:『正信偈』善導章を読ん (2時間) 習:授業を振り返る(2時間) |
| 9 . | 源信僧都 偏に安養に帰す 「源信広開一代教 偏帰安養勧一切」 | おく | 冒:『正信偈』源信章を読ん ((2時間) 冒:授業を振り返る(2時間) |
| 10 . | 源信僧都 報土と化土 「専雑執心判浅深 報化二土正弁立」 | 予習 | 習:『正信偈』源信章を読ん [*] 、(2時間) |
| 11 . | 源信僧都 極重の悪人 「極重悪人唯称仏 我亦在彼摂取中 煩悩障眼雖不見 大悲無倦常照我」 | 予習 | 3:授業を振り返る(2時間) 3:『正信偈』源信章を読ん (2時間) (2時間) |
| 12 . | 源空上人 | おく | 3:授業を振り返る(2時 3:『正信偈』源空章を読ん 、(2時間) |
| 13 . | 源空上人 真宗 選択本願 「真宗教証興片州 選択本願弘悪世」 | | 留:授業を振り返る(2時間) 習:『正信偈』源空章を読ん (2時間) |
| 14 . | スパス | | 、(2日間) 3:授業を振り返る(2時間) 3:『正信偈』源空章を読ん 、(2時間) |
| 15 . | ・ | 復習 予習 おく | 習:授業を振り返る(2時間) 習:『正信偈』源空章を読ん 、(2時間) |
| 教科書 | 『真宗聖典』、『真宗聖教全書一』 | 侵管 | 習:授業を振り返る(2時間) |
| 参考書 | 『岩波仏教辞典』、『新漢語林』 | | |
| 学習成果の評価方法 | 受講態度 (30%) 定期試験 (70%) | | |
| がいって | 恥刊貝ヤヤ// 財憑 ∪ 体いよう、 ノフットノアイルを用息すること。 | | |

| 科目 | 真宗聖教講読 | 開講時期履修方法 | 2 年前期 選択、専門科目 |
|---------------|--|------------|---|
| 旦当者 | 青木 玲 | 授業形態 | 演習 1単位 |
| 受業概要 | 『歎異抄』を通して、親鸞聖人が明らかにした仏道を学ぶ。 各条担当を決めて発表を行う。 本授業は仏教学科の学習成果(5)に対応する。 | 1 1000 | |
| 達目標 | 発表・質疑応答を通して、『歎異抄』の内容が理解できるようになる。 本授業によって、仏教学科の学習成果(5)を得ることができる。 | | |
| 習成果の 平価基準 | 授業での発表・質疑応答を「受講態度」の評価とする。 到達目標に達しているか確認するために、到達目標確認試験を行い評価する。 | | |
| | 授業計画(授業内容) | | 授業時間外学習 予習・復習 |
| 1 . | 授業概要 | 復習 | : シラバスを読む(30分) : 授業概要の内容を振り返)分) |
| 2 . | 『歎異抄』前序の発表・質疑応答 | 予習 復習 | :テキストを読む(30分) 1:授業を振り返り、疑問点 3する(30分) |
| 3. | 『歎異抄』前序の発表・質疑応答 | 予習 復習 | : テキストを読む(30分) : 授業を振り返り、疑問点 (する(30分) |
| 4 . | 『歎異抄』第1条の発表・質疑応答 | 予習 復習 | : テキストを読む(30分) : 授業を振り返り、疑問点 !する(30分) |
| 5. | 『歎異抄』第1条の発表・質疑応答 | 予習 復習 | ・テキストを読む(30分) : テキストを読む(30分) : 授業を振り返り、疑問点 する(30分) |
| 6 . | 『歎異抄』第2条の発表・質疑応答 | 予習 復習 | : テキストを読む (30分) : 授業を振り返り、疑問点 |
| 7. | 『歎異抄』第2条の発表・質疑応答 | 予習 復習 | 3する(30分) :テキストを読む(30分) :授業を振り返り、疑問点 する(30分) |
| 8 . | 『歎異抄』第3条の発表・質疑応答 | 予習 復習 | マック(30分) 【:テキストを読む(30分) 【:授業を振り返り、疑問点 【する(30分) |
| 9 . | 『歎異抄』第3条の発表・質疑応答 | 予習 復習 | 7 : テキストを読む(30分) 1: テキストを読む(30分) 1: 授業を振り返り、疑問点 7する(30分) |
| 10 . | 『歎異抄』第4条の発表・質疑応答 | 予習 復習 | 7:50 (30分) :テキストを読む(30分) :授業を振り返り、疑問点 する(30分) |
| 11 . | 『歎異抄』第4条の発表・質疑応答 | 予習 復習 | 39 3 (30万) 7:テキストを読む(30分) 7:授業を振り返り、疑問点 7する(30分) |
| 12 . | 『歎異抄』第5条の発表・質疑応答 | 予習 復習 | 39 3 (30万) 7:テキストを読む(30分) 7:授業を振り返り、疑問点 3する(30分) |
| 13 . | 『歎異抄』第5条の発表・質疑応答 | 予習 復習 | 39 3 (30万) : テキストを読む(30分) : 授業を振り返り、疑問点 する(30分) |
| 14 . | 到達目標確認試験 | 予習 復習 | 39 る(30万) :テキストを読む(30分) :授業を振り返り、疑問点 する(30分) |
| 15 . | 前期のまとめ | 予習 復習 | 39 る(30万) :テキストを読む(30分) :授業を振り返り、疑問点 する(30分) |
| 数科書 | 『真宗聖典』、『歎異抄』(東本願寺出版)、『古語林』、『新漢語林』、『岩波仏教辞典』 | 1年前(| 7 > ∞ (∩()) |
| ····· 考書 | 三明智彰『歎異抄講義(上)』(法蔵館) | | |
| 習成果の 価 方 法 | 受講態度(50%)到達目標確認試験(50%) | | |
| <u> </u> | | | |
| 問·相筹 | | | |

| 青木 玲 『歎異抄』を通して、親鸞聖人が明らかにした仏道を学ぶ。 各条担当を決めて発表を行う。 本授業は仏教学科の学習成果(5)に対応する。 発表・質疑応答を通して、『歎異抄』の内容が理解できるようになる。 本授業によって、仏教学科の学習成果(5)を得ることができる。 授業での発表・質疑応答を「受講態度」の評価とする。 到達目標に達しているか確認するために、到達目標確認試験を行い評価す | 授業形態 単位数 | 演習 1単位 |
|---|--|--|
| 各条担当を決めて発表を行う。 本授業は仏教学科の学習成果(5)に対応する。 発表・質疑応答を通して、『歎異抄』の内容が理解できるようになる。 本授業によって、仏教学科の学習成果(5)を得ることができる。 授業での発表・質疑応答を「受講態度」の評価とする。 到達目標に達しているか確認するために、到達目標確認試験を行い評価す | • | |
| 本授業によって、仏教学科の学習成果(5)を得ることができる。 授業での発表・質疑応答を「受講態度」の評価とする。 到達目標に達しているか確認するために、到達目標確認試験を行い評価す | ర . | |
| 到達目標に達しているか確認するために、到達目標確認試験を行い評価す | ర . | |
| | | |
| 授業計画(授業内容) | | 授業時間外学習 予習・復習 |
| 「是旃陀羅」の学び | 予 予 復 確 記 | 3: テキストを読む(30分) 3: 授業を振り返り、疑問点: 3する(30分) |
| 『歎異抄』第6条の発表・質疑応答 | 予2 復2 | 3: テキストを読む(30分) 3: 授業を振り返り、疑問点: &する(30分) |
| 『歎異抄』第6条の発表・質疑応答 | 予 行 復 | 3:テキストを読む(30分) 3:授業を振り返り、疑問点: 3する(30分) |
| 『歎異抄』第7条の発表・質疑応答 | 予 行 復 | 習:テキストを読む(30分) 習:授業を振り返り、疑問点 図する(30分) |
| 『歎異抄』第7条の発表・質疑応答 | 予習 | 習:テキストを読む(30分) 習:授業を振り返り、疑問点 習する(30分) |
| 『歎異抄』第8条の発表・質疑応答 | 予習 | 習:テキストを読む(30分) 習:授業を振り返り、疑問点 [:] 習する(30分) |
| 『歎異抄』第8条の発表・質疑応答 | 予2 復2 | 習:テキストを読む(30分) 習:授業を振り返り、疑問点 図する(30分) |
| 『歎異抄』第9条の発表・質疑応答 | 復習 | 習:テキストを読む(30分) 習:授業を振り返り、疑問点 忍する(30分) |
| 『歎異抄』第9条の発表・質疑応答 | 復習 | 習:テキストを読む(30分) 習:授業を振り返り、疑問点 忍する(30分) |
| 『歎異抄』第10条の発表・質疑応答 | 復習 | 習:テキストを読む(30分) 習:授業を振り返り、疑問点 忍する(30分) |
| 『歎異抄』第10条の発表・質疑応答 | │復習 | 習:テキストを読む(30分) 習:授業を振り返り、疑問点 忍する(30分) |
| 『歎異抄』第11条の発表・質疑応答 | 復 確詞 | 習:テキストを読む(30分) 習:授業を振り返り、疑問点 忍する(30分) |
| 『歎異抄』第11条の発表・質疑応答 | 予2 復2 | 習:テキストを読む(30分) 習:授業を振り返り、疑問点 忍する(30分) |
| 到達目標確認試験 | 復習 | 習:テキストを読む(30分) 習:授業を振り返り、疑問点 図する(30分) |
| 复期のまとめ | 予2 復2 | 習:テキストを読む(30分) 習:授業を振り返り、疑問点 図する(30分) |
| 『真宗聖典』、『歎異抄』(東本願寺出版)、『古語林』、『新漢語林』、『岩波伝 | | <u> </u> |
| 三明智彰『歎異抄講義(上)』(法蔵館) | | |
| 受講態度(50%)到達目標確認試験(50%) | | |
| | | |
| | 「是旃陀羅」の学び 『歎異抄』第6条の発表・質疑応答 『歎異抄』第6条の発表・質疑応答 『歎異抄』第7条の発表・質疑応答 『歎異抄』第7条の発表・質疑応答 『歎異抄』第8条の発表・質疑応答 『歎異抄』第8条の発表・質疑応答 『歎異抄』第9条の発表・質疑応答 『歎異抄』第10条の発表・質疑応答 『歎異抄』第10条の発表・質疑応答 『歎異抄』第11条の発表・質疑応答 『歎異抄』第11条の発表・質疑応答 『歎異抄』第11条の発表・質疑応答 | 「是旃陀羅」の学び 名名 名名 名名 名名 名名 名名 名名 |

| 科目 | 教行信証講義 | 開講時期 履修方法 | 2 年前期 選択、専門科目 |
|---------------|--|--------------------|--|
| 担当者 | 青木 玲 | 授業形態 単位数 | 講義 1単位 |
| 授業概要 | 親鸞の主著『顕浄土真実教行証文類』(『教行信証』)を読むことを通して、親鸞が明 巻」を読んでいく。 本授業は仏教学科の学習成果(1)に対応する。 | | |
| 到達目標 | 『教行信証』「証巻」の内容が理解できるようになる。 本授業によって、仏教学科の学習成果(1)を得ることができる。 | | |
| 学習成果の 評価基準 | 到達目標に達しているか確認するために、到達目標確認試験を行い評価する。 | | |
| | 授業計画(授業内容) | | 授業時間外学習 |
| 1 . | 授業概要 | 予習 | 予習・復習 3: 『教行信証』を読む(30) |
| 2 . | 『教行信証』とは | 復習 | : 残れに置っている(66 : 授業を振り返り、疑問点を : 該当箇所を読む(30分) : まく200~) |
| 3 . | 「証巻」の標挙 | 予習 復習 | 3する(30分) 3:該当箇所を読む(30分) 3:授業を振り返り、疑問点を 3する(30分) |
| 4 . | 共同学習 | 予習 復習 | スと、00007 習:該当箇所を読む(30分) 習:授業を振り返り、疑問点を 習する(30分) |
| 5 . | 「証巻」冒頭の御自釈 | 予習 復習 | : 該当箇所を読む(30分) 日:授業を振り返り、疑問点を 3する(30分) |
| 6 . | 「証巻」冒頭の御自釈 | 予習 復習 確認 | 冒:該当箇所を読む(30分) 冒:授業を振り返り、疑問点を Bする(30分) |
| 7 . | 必至滅度の願文 | 確認 | 習:該当箇所を読む(30分) 冒:授業を振り返り、疑問点を Bする(30分) |
| 8 . | 共同学習 | 予習 復習 確認 | 習:該当箇所を読む(30分) 冒:授業を振り返り、疑問点を 習する(30分) |
| 9 . | | | |
| 10 . | | | |
| 11 . | | | |
| 12 . | | | |
| 13 . | | | |
| 14 . | | | |
| 15 . | 『古中町市 『柏藤町』古庫佳子 (松光中川 北 40年 4年 7) | | |
| 教科書 | 『真宗聖典』、『親鸞聖人真蹟集成』(授業担当者が準備する) | | |
| 参考書 | 山辺習学・赤沼智善『教行信証講義』(法蔵館) | | |
| 学習成果の評価方法 | 受講態度(50%) 到達目標確認試験(50%) | | |
| 特記すべき事項 | | | |
| 質問・相類の 受付 | | | |

| | | 88≐井□土廿日 | 2.年後期 | | |
|---------------|--|----------------|--|--|--|
| 科目 | 教行信証講義 | | 2 年後期 選択、専門科目 | | |
| 担当者 | 青木 玲 | 授業形態 単位数 | 講義 1単位 | | |
| 授業概要 | 親鸞の主著『顕浄土真実教行証文類』(『教行信証』)を読むことを通して、親鸞が明らかにした仏道を学ぶ。後期も「証巻」を読んでいく。 本授業は仏教学科の学習成果(1)に対応する。 | | | | |
| 到達目標 | 『教行信証』「証巻」の内容が理解できるようになる。 本授業によって、仏教学科の学習成果(1)を得ることができる。 | | | | |
| 学習成果の 評価基準 | 到達目標に達しているか確認するために、到達目標確認試験を行い評価する。 | | | | |
| | 授業計画(授業内容) | | 授業時間外学習 | | |
| | 必至滅度の願成就文 | 予習 | 予 <mark>習・復習</mark> : 該当箇所を読む(30分) : 授業を振り返り、疑問点を | | |
| 1 . | | 確認 | はる (30分) | | |
| 2 . | 必至滅度の願成就文 | 復習 | 1:該当箇所を読む(30分) 1:授業を振り返り、疑問点を 3する(30分) | | |
| 3 . | 『浄土論註』の文 | 予習 復習 確認 | 【:該当箇所を読む(30分) 【:授業を振り返り、疑問点を 【する(30分) | | |
| 4 . | 共同学習 | 予習 復習 | : : 該当箇所を読む(30分) : 授業を振り返り、疑問点を !する(30分) | | |
| 5 . | 『浄土論註』の文 | 予習 復習 | 1:該当箇所を読む(30分) :該当箇所を読む(30分) :授業を振り返り、疑問点を する(30分) | | |
| 6 . | 『浄土論註』の文 | 予習 復習 | 39 3 (30万) 3:該当箇所を読む(30分) 3:授業を振り返り、疑問点を 3する(30分) | | |
| 7 . | 『浄土論註』の文 | 予習 復習 | ・ファン(SOD) :該当箇所を読む(30分) :授業を振り返り、疑問点を する(30分) | | |
| 8 . | 共同学習 | | :該当箇所を読む(30分) :授業を振り返り、疑問点を ける(30分) | | |
| 9 . | | | | | |
| 10 . | | | | | |
| 11 . | | | | | |
| 12 . | | | | | |
| 13 . | | | | | |
| 14 . | | | | | |
| 15 . | | | | | |
| 教科書 | 『真宗聖典』、『親鸞聖人真蹟集成』(授業担当者が準備する) | | | | |
| 参考書 | 山辺習学・赤沼智善『教行信証講義』(法蔵館) | | | | |
| 学習成果の 評価方法 | 受講態度(50%)到達目標確認試験(50%) | | | | |
| 特記すべき 事 項 | | | | | |
| 質問・相類の 受付 | | | | | |

| 科目 | 仏典講読 | 開講時期履修方法 | 2年前期 選択、専門科目 |
|----------------------|---|---------------------------------------|---|
| 担当者 | 吉元信暁 | 授業形態単位数 | 演習 1単位 |
| 授業概要 | 親鸞聖人は、『仏説無量寿経』、『仏説観無量寿経』、『仏説阿弥陀経』を浄土三部紹の中の『仏説阿弥陀経』を読んでいく。本授業は仏教学科の学習成果(3)に対応する。 | | |
| 到達目標 | ・『阿弥陀経』とは何かを理解する。 ・『阿弥陀経』(漢文)を声に出して読むことができる。 ・漢和辞典や仏教辞典で経典のことばを調べ、意味を取ることができる。 ・発表用のレジュメを作成し、発表し、自らの課題を発見することができる。 ・発表に基づいてまわりと議論し、自らの課題を深めていくことができる。 | | |
| 学習成果の 評価基準 | 『阿弥陀経』とは何かの理解の達成度を測るために、毎回の振り返りおよび到達度確 授業内における積極的な発表・議論を評価する。 | 認の小テス | トを実施して評価する。 |
| | 授業計画(授業内容) | | 授業時間外学習 予習・復習 |
| 1 . | ガイダンス・授業概要の確認 | 予習 復習 | プ <u>自・1を自</u> 習:授業要覧を読む(30分) 習:授業を振り返る(30分) |
| 2 . | 『阿弥陀経』とは何か | (30 | : 『真宗聖教全書一』を読む 分) : 授業を振り返る(30分) |
| 3 . | 『阿弥陀経』とは何か 「『阿弥陀経』とは何か」についての小テスト | 予 習 (30 | 3:『真宗聖教全書一』を読む 3分) 3:授業を振り返る(30分) |
| 4 . | 序分 | 구 캠 | : ノートを作成する(30分) : 授業を振り返る(30分) |
| 5 . | 正宗分(1)讃極楽依正 | 予習 復習 | :ノートを作成する(30分) :授業を振り返る(30分) |
| 6 . | 正宗分(1)讃極楽依正 | ····································· | : ノートを作成する(30分) : 授業を振り返る(30分) |
| 7. | 正宗分(1)讃極楽依正 | 予習 | : ノートを作成する(30分) : 授業を振り返る(30分) |
| 8 . | 序分および正宗分の讃極楽依正についての小テスト | 予習 復習 | :ノートを作成する(30分) 3:授業を振り返る(30分) |
| 9 . | 正宗分(2)勧念仏往生 | | : ノートを作成する(30分) : 授業を振り返る(30分) |
| 10 . | 正宗分(2)勧念仏往生 | 予習 復習 | 『: ノートを作成する(30分) 『: 授業を振り返る(30分) |
| 11 . | 正宗分(2)勧念仏往生 | 予習 | : ノートを作成する(30分) : 授業を振り返る(30分) |
| 12 . | 流通分 正宗分の勧念仏往生についての小テスト | | : ノートを作成する(30分) : 授業を振り返る(30分) |
| 13 . | これまでの学習内容の振り返り(『阿弥陀経』についての発表・議論) | (30 | : ノートを振り返り整理する 3分) : 授業を振り返る(30分) |
| 14 . | これまでの学習内容の振り返り(『阿弥陀経』についての発表・議論) | 予習 (30 | ・10米で旅り返り(30分) 引: ノートを振り返り整理する 3分) 引: 授業を振り返る(30分) |
| 15 . | これまでの学習内容の振り返り(『阿弥陀経』についての発表・議論) | 予 習 (30 | : ノートを振り返り整理する 3分) : 授業を振り返る(30分) |
| 教科書 | 『真宗聖典』、『真宗聖教全書一』、『岩波仏教辞典』、『新漢語林』、『古語林』 | | , |
| 参考書 学習成果の | 毎回の振り返り(40%) 小テスト(30%) 授業内発表(30%) | | |
| <u>評価方法</u> 特記すべき | 授業内でClassroomを使います。事務室でiPadを借りるか、自分のスマートフォンを用意してくた | ごさい 。 | |
| 事 項 | 授業後、研究室、九州大谷Online等、いずれの方法も可。 | | |

| 科目 | 宗教法規 | 開講時期履修方法 | 2 年後期 選択、専門科目 |
|------------------------|---|----------------------|--|
| 担当者 | 小田朋隆 | 授業形態 単位数 | 講義 2単位 |
| 授業概要 | 宗教法人法、単位法人規則および真宗大谷派宗憲等の基本を学び、現代における仏教、る。 本授業は仏教学科の学習成果(6)に対応する。 | 教団および | が寺院の存在意義を考察す |
| 到達目標 | 国法(憲法や宗教法人法)と宗法(宗憲や諸条例)と仏法(仏教)の相互関係を課題的の関係について認識を深める。 | りに受けとめ | か、かつそれらと自己自身と |
| 学習成果の 評価基準 | 法の成り立ちと作用に関する認識度を評価基準とする。 | | |
| | 授業計画(授業内容) | | 授業時間外学習 予習・復習 |
| 1 . | 当科目の全容の概説、アンケート | 把握 | 冒:授業概要および授業計画を はする(2時間) は : 講義を振り返る(2時間) |
| 2 . | 基本法規の概説 1 | 予習 る (| 習:授業計画の全体像をおさえ 2時間) |
| 3 . | | 予 翟 2時 | 3:講義を振り返る(2時間) 3: 法規の役割をおさえる(1) # # # # # # # # # # # # # # # # # # # |
| 4 . | 上 法制の背景としての教団史 1 | 予習 (2) | : 講義を振り返る(2時間) 3: 歴史を学ぶ意味をおさえる 時間) |
| 5. | | 予習 時間 | 3:講義を振り返る(2時間) 3:法制の変化をおさえる(2 3) |
| 6 . | 法制の背景としての教団史 3 | 予習 時間 | 名: 講義を振り返る(2時間) 名: 教団の構造をおさえる(2 引) |
| 7. | 同朋会運動と教団問題 1 | 予習 (2) | 3:講義を振り返る(2時間) 3:信仰運動の動機をおさえる時間) 時間) 3:講義を振り返る(2時間) |
| 8. | 同朋会運動と教団問題 2 | 予習 る (| 3:暗義で派ンペッ(255回) 習:普遍的問題の所在を確かめ 2時間) 習:講義を振り返る(2時間) |
| 9 . | 真宗大谷派宗憲の意義 | 予習 2時 | 習:宗憲の具体性を考察する(|
| 10 . | 宗教法人法の意義 | 予習する | ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ |
| 11 . | | 予習る(| ・ 開義で派り座る(245回) 3:法人規則の具体性を考察す 2時間) 3:講義を振り返る(2時間) |
| 12 . | 教団論 1 | 予習 (2) | ・ |
| 13 . | 教団論 2 | 予習を考 | ・ 時我で派クとる(255回) 習:現代における共同体の意義 ぎ察する(2時間) 習:講義を振り返る(2時間) |
| 14. | 教学と教化(法の作用と誤用) | 予習 (2 | 1:開義を派り座る(2時間) 習:宗教活動の本旨を考察する 時間) 習:講義を振り返る(2時間) |
| 15 . | 仏教学としての「宗教法規」 | 予習 る (| ョ・講義を派り返る(2時間) 習:宗教法制の全体像を確認す 「2時間)復習:各法令の意義 型握する(2時間) |
| 教科書 | 『真宗大谷派宗憲 宗教法人法』、『教団の歩み』、『真宗聖典』 | 211 | ンルエン ひ (E4VIOI) |
| 参考書 学習成果の | 受講態度(50%) 定期試験(50%) | | |
| <u>評価方法</u> 特記すべき | 担当者の実務経験:真宗大谷派宗務役員、教学研究所所員、宗教法人代表役員(現職) | | |
| 事 項 質問・相談等 の 受 付 | メール対応可(アドレスは授業時に提示する) | | |

| 科目 | 声明作法 | 開講時期 履修方法 | 2 年前期 選択、専門科目 |
|------------------------|---|------------------|--|
| 担当者 | 渡邉弘宣 | 一 授業形態 単位数 | 演習 1単位 |
| 授業概要 | 「声明作法」」では、真宗大谷派の儀式執行の行儀の習得を目的としている。聖教を総厳作法」「装束作法」の基本を学ぶ。 主に「伽陀仏説阿弥陀経和讃音木」など、大谷派の年忌法要を中心に僧侶としての生活 本授業は仏教学科の学習成果(2)に対応する。 | 操り返し唱和 | |
| 到達目標 | 聖教の言葉を大事にしつつ、教えを唱和している事の大切さを感じることができるよう 正確に読めるようになる。 本授業によって、仏教学科の学習成果 を得ることができる。 | うになる。 | |
| 学習成果の 評価基準 | 到達目標に明示している「言葉を大事にする」「教えを唱和する」「正確に読む」の を実施して評価する。 | 到達度を測る | るために、到達度確認のテスト |
| | 授業計画(授業内容) | | 授業時間外学習 予習・復習 |
| 1 . | 自己紹介 声明概説復習「装束作法」 | 予習 復習 分) | :声明集に目を通す(30分) :教材確認、授業の復習(30 |
| 2. | 大谷派の法要について 御経「浄土三部経について」 | 予習 | :声明集に目を通す(30分) :教材確認、授業の復習(30 |
| 3 . | 「キンの心得」 御経を読む「仏説阿弥陀経を中心に」 | 予習 復習 | :声明集に目を通す(30分) :教材確認、授業の復習(30 |
| 4 . | 御経を読む「仏説阿弥陀経を中心に」 | 復習 | :声明集に目を通す(30分) :教材確認、授業の復習(30 |
| 5 . | 御経を読む「仏説阿弥陀経を中心に」 | 復習 | : 声明集に目を通す(30分) : 教材確認、授業の復習(30 |
| 6 . | 御経を読む「仏説阿弥陀経を中心に」 | 復習 | :声明集に目を通す(30分) :教材確認、授業の復習(30 |
| 7 . | 三経伽陀「先請弥陀を中心に」御経を読む「仏説阿弥陀経を中心に」 三帖和讃(懸け和讃を中心に) | 予習 復習 | : 声明集に目を通す(30分) : 教材確認、授業の復習(30 |
| 8 . | 三経伽陀「先請弥陀を中心に」御経を読む「仏説阿弥陀経を中心に」 三帖和讃(懸け和讃を中心に) | 구 캠 | :声明集に目を通す(30分) :教材確認、授業の復習(30 |
| 9 . | 三経伽陀「先請弥陀を中心に」御経を読む「仏説阿弥陀経を中心に」 三帖和讃(懸け和讃を中心に) | 予習 復習 | :声明集に目を通す(30分) :教材確認、授業の復習(30) |
| 10 . | 三経伽陀「先請弥陀を中心に」御経を読む「仏説阿弥陀経を中心に」 三帖和讃(懸け和讃を中心に) | 予習 復習 | : 声明集に目を通す(30分) : 教材確認、授業の復習(30 |
| 11 . | 三経伽陀「先請弥陀を中心に」御経を読む「仏説阿弥陀経を中心に」 「音木について」 三帖和讃(懸け和讃を中心に) | 予習 復習 | : 声明集に目を通す(30分) : 教材確認、授業の復習(30 |
| 12 . | 三経伽陀「先請弥陀を中心に」御経を読む「仏説阿弥陀経を中心に」 「音木について」 三帖和讃(懸け和讃を中心に) | 予習 | : 声明集に目を通す(30分) : 教材確認、授業の復習(30 |
| 13 . | 正信偈「真 行 草」草四句目下を中心として「同朋奉讃」「御文」 | 予習 | :声明集に目を通す(30分) :教材確認、授業の復習(30 |
| 14. | | 予習 復習 | :声明集に目を通す(30分) :教材確認、授業の復習(30 |
| 15 . | 三経伽陀「先請弥陀を中心に」御経を読む「仏説阿弥陀経を中心に」 「音木について」 三帖和讃(懸け和讃を中心に) | 予習 | : 声明集に目を通す(30分) : 教材確認、授業の復習(30 |
| 教科書 | 『大谷派声明集』、『御文稽古本』、『真宗の儀式』 | | |
| 参考書 | 受講態度(20%) 達成度確認(20%) 定期試験(60%) | | |
| <u>評価方法</u> 特記すべき | | | |
| 事 項 質問・相談等 の 受 付 | | | |

| | 声明作法 | 履修方法 | 2年後期 選択、専門科目 |
|------------------------|--|----------------|--------------------------------------|
| 担当者 | 渡邉弘宣 | 授業形態 | 演習 1単位 |
| 授業概要 | 「声明作法 」では、真宗大谷派の儀式執行の行儀の習得を目的としている。聖教を 厳作法」「装束作法」の基本を学ぶ。 主に通夜・葬儀の勤行など、真宗の葬儀式を中心に僧侶としての生活実践に重きを置 慮した儀式執行についても学ぶ。 本授業は仏教学科の学習成果 に対応する。 | | |
| 到達目標 | 聖教の言葉を大事にしつつ、教えを唱和している事の大切さを感じることができるよ正確に読めるようになる。 本授業によって、仏教学科の学習成果 を得ることができる。 | うになる。 | |
| 学習成果の 評価基準 | 到達目標に明示している「言葉を大事にする」「教えを唱和する」「正確に読む」の を実施して評価する。 | D到達度を測る | るために、到達度確認のテスト |
| | 授業計画(授業内容) | | 授業時間外学習 予習・復習 |
| 1 . | 前期の復習 声明概説「真宗の葬儀式について」 | 予習 復習 分) | 智:声明集に目を通す(30分) 智:教材確認、授業の復習(30 |
| 2 . | 「装束作法」 | 予習 復習 分) | 智:声明集に目を通す(30分) 智:教材確認、授業の復習(30 |
| 3 . | 通夜・葬儀について 「荘厳作法」「各種偈文について」(勧衆偈を中心に) | 予習 | : 声明集に目を通す(30分) 3: 教材確認、授業の復習(30 |
| 4 . | 通夜・葬儀について 正信偈「墨譜を中心として」 | 予習 | 日:声明集に目を通す(30分) 日:教材確認、授業の復習(30 |
| 5 . | 通夜・葬儀について 正信偈「墨譜を中心として」 | 予習 復習 | 留:声明集に目を通す(30分) 留:教材確認、授業の復習(30 |
| 6 . | 通夜・葬儀について 念佛讚淘三 三帖和讃 | 復習 | :声明集に目を通す(30分) 3:教材確認、授業の復習(30 |
| 7 . | 通夜・葬儀について 念佛讃淘三 三帖和讃 | │復習 | 習:声明集に目を通す(30分) 図:教材確認、授業の復習(30 |
| 8 . | 通夜・葬儀について 念佛讚淘三 三帖和讃 | │復習 | 習:声明集に目を通す(30分) 図:教材確認、授業の復習(30 |
| 9 . | 通夜・葬儀について 念佛讃淘三 三帖和讃 | │復習 | 習:声明集に目を通す(30分) 習:教材確認、授業の復習(30 |
| 10 . | 通夜・葬儀について 「装束作法」御文 | │復習 | 日:声明集に目を通す(30分) 日:教材確認、授業の復習(30 |
| 11 . | 通夜・葬儀について 伽陀(先請弥陀を中心に) 三帖和讃(懸け和讃を中心に)「装束作法」 | │復習 | 習:声明集に目を通す(30分) 図:教材確認、授業の復習(30 |
| 12 . | 通夜・葬儀について 復習 | │復習 | : 声明集に目を通す(30分) 3: 教材確認、授業の復習(30 |
| 13 . | 通夜・葬儀について 復習 | │復習 | 3: 声明集に目を通す(30分) 3: 教材確認、授業の復習(30 |
| 14 . | 正信偈「真 行 草」真四句目下を中心として 念佛讚淘五 三帖和讃 | 復習 | : 声明集に目を通す(30分) 3: 教材確認、授業の復習(30 |
| 15 . | 通夜・葬儀について 復習 | 復習 | 習:声明集に目を通す(30分) 習:教材確認、授業の復習(30 |
| 教科書 | 『大谷派声明集』、『御文稽古本』、『真宗の儀式』 | 分) | |
| 参考書 | | | |
| 学習成果の 評価方法 特記すべき | 受講態度(20%) 達成度確認(20%) 定期試験(60%) | | |
| 事項 質問·椎類 | | | |

| 科目 | 真宗と社会 | 開講時期 履修方法 | 2年前期 選択、専門科目 |
|------------------------|--|---------------------------------------|--|
| 担当者 | 木屋行深・小田朋隆 | 授業形態 | 講義 2単位 |
| 授業概要 | 歴史的社会的存在である宗教(真宗)および宗教施設(寺院)について、背景と 義と課題を学ぶ。 本授業は仏教学科の学習成果(6)に対応する。 | | |
| 到達目標 | 自身の背景となっている教団の歩みを認識することを通して、人として、また僧 | 曾侶としての姿勢の | D確立に資する。 |
| 学習成果の 評価基準 | 浄土真宗と寺院の歴史的な成り立ち、背景、およびその今日的課題に関する認語 | 哉度を評価基準とす | する。 |
| | 授業計画(授業内容) | | 授業時間外学習 予習・復習 |
| 1 . | 概説 1 - 教団史を学ぶ必然性 | (2 | : 宗派の基本構造をおさえる 時間) |
| 2 . | 概説 2 - 教団史を学ぶ際の留意点 | 男主 3 (| 』:講義を振り返る((2時 』:寺院、僧侶の基本をおさえ 2時間) 』:講義を振り返る(2時間) |
| 3 . | 大谷廟堂のなりたち | 予習る(| : 本願寺の源流について調べ 2時間) : 講義を振り返る(2時間) |
| 4 . | 廟堂から本願寺へ | 予習 る (| : 墓所の寺院化について調べ 2時間) : 講義を振り返る(2時間) |
| 5. | 蓮如上人の生涯と教え 1 | 予習を調 | : 室町期の本願寺と周辺状況 べる(2時間) :講義を振り返る(2時間) |
| 6. | 蓮如上人の生涯と教え 2 | 予習 2時 | 冒:蓮如上人の事績を調べる(|
| 7. | 本願寺の東西分派 | 予習を調を調 | ・ 勝名で派之との (1975) 3:戦国期の本願寺の周辺状況 3べる(2時間) 3:講義を振り返る(2時間) |
| 8. | 明治大正期の東本願寺 - 両堂再建の軌跡 | 予習を調 | ・明治期の本願寺の周辺状況 『べる(2時間) 『:講義を振り返る(2時間) |
| 9 . | ジェンダー事前学習 | 予習 | 【:配布資料を読む(2時間) ☑:授業内容を振り返る((2 |
| 10 . | ジェンダー講義 ゲストスピーカー草野龍子先生 | 予習 | :配布資料を読む(2時間) 3:授業内容を振り返る(2時 |
| 11 . | ジェンダー事後学習 | | |
| 12 . | 教誨師事前学習 | ····································· | 1:授業内容を振り返る(2時 |
| 13 . | 教誨師講義 ゲストスピーカー古賀祐法先生 | 予習 復習 間) | 3:配布資料を読む(2時間) |
| 14 . | 教誨師事後学習 | | 1:授業内容を振り返る(2時 |
| 15 . | まとめ | 1,03.7 | |
| 教科書 | 『真宗聖典』、『教団の歩み』 | | |
| 参考書 | 『本願寺の軌跡』、『親鸞聖人の娘 覚信尼と真宗本廟』、『教如上人と東本願寺創立』、 | 『本廟物語』 | |
| 学習成果の 評価方法 特記すべき | 受講態度 (50%) 定期試験 (50%) アンケート、小テストまたはレポート提出あり。 | | |
| 事項 | 担当者の実務経験(小田):真宗大谷派宗務役員、教学研究所所員、宗教法人代表役員 | | |

| 科目 | 77 1 - Y - Y - Y - Y - Y - Y - Y - Y - Y - | | 2 年前期 必修、専門科目 |
|-----------------------|--|----------------|---|
| 担当者 | 中島 航 | 授業形態 単位数 | 演習 1単位 |
| 授業概要 | 1、2年生合同で、「夏の法要」に向けた企画・学習・準備などを行い、計画に基づいり組んでいくことを通して、現場に応ずる学びを深めていく。本授業は仏教学科の学習成果(8)に対応する。 | | · .— |
| 到達目標 | 法要の概要や目的を理解することができる。 協働して法要を勤めることができるようになる。 | | |
| 学習成果の 評価基準 | 「法要概要や目的を理解することができる」の達成度を測るために、到達度確認テスト授業での積極的なグループ活動(法要の企画、学習、準備など)を「受講態度」の評価ができるようになる」の達成度を測る。 | (期末レī とし、「t | ポート)を実施し評価する。 協働して法要を勤めることが |
| | 授業計画(授業内容) | | 授業時間外学習 予習・復習 |
| 1 . | ガイダンス 概要の確認と係の決定 | 予習 復習 分) | 3:シラバスを読む(30分) 3:授業の内容を振り返る(30 |
| 2 . | 事前準備 法要の企画を行う(1) | | 3:係ごとの話し合い(30分) 3:授業の内容を振り返る(30 |
| 3. | 事前準備 法要の企画を行う(2) | 予習 | :係ごとの話し合い(30分) 冒:授業の内容を振り返る(30 |
| 4 . | 事前準備 法要の学習を考える(1) | | 3:係ごとの話し合い(30分) 3:授業の内容を振り返る(30 |
| 5 . | 事前準備 法要の学習を考える(2) | 予習 復習 分) | 3:係ごとの話し合い(30分) 3:授業の内容を振り返る(30 |
| 6 . | 事前準備 勤行の練習をする(1) | 予習 | 30分) :係ごとの話し合い(30分) :授業の内容を振り返る(30 |
| 7. | 事前準備 勤行の練習をする(2) | 予習 | 【:係ごとの話し合い(30分) 【:授業の内容を振り返る(30 |
| 8 . | 事前準備 勤行の練習をする(3) | 予習 | 3:係ごとの話し合い(30分) 3:授業の内容を振り返る(30) |
| 9 . | 事前準備 法要の準備を行う(1) | 予習 | 【:係ごとの話し合い(30分) 【:授業の内容を振り返る(30 |
| 10 . | 事前準備 法要の準備を行う(2) | 予習 | 冒:係ごとの話し合い(30分) 冒:授業の内容を振り返る(30 |
| 11 . | 事前準備 法要の準備を行う(3) | 予習 | 習:係ごとの話し合い(30分) 習:授業の内容を振り返る(30 |
| 12 . | 事前準備 法要のリハーサルを行う | 予習 | 冒:係ごとの話し合い(30分) 冒:授業の内容を振り返る(30 |
| 13 . | 夏の法要 讃歌(真宗宗歌、回向、恩徳讃)、勤行(「正信偈」草四句目下、念仏讃 三淘)、学 表、講話など | 予習 習発 備を | 3:夏の法要の要項をもとに準 行う(30分) 復習:授業の 家を振り返る(30分) |
| 14 . | 夏の法要 讃歌(真宗宗歌、回向、恩徳讃)、勤行(「正信偈」草四句目下、念仏讃 三淘)、学 表、講話など | 予習 習発 構を | 3:夏の法要の要項をもとに準 行う(30分) 復習:授業の 家を振り返る(30分) |
| 15 . | 事後総括 法要を総括する | 予習 分) | :夏の法要を振り返る(30 復習:授業の内容を振り返 30分) |
| 教科書 | なし | | · |
| 参考書 | 適宜、資料を配布する | _ | |
| <u>評価方法</u> 特記すべき | 受講態度(70%) その他【期末レポート】(30%) | | |
| 事 項 質問・相終 の 受 付 | 授業前後に、授業場所あるいは学修支援室にて受け付ける また、電話、メール等でも受け付ける | | |

| 科目 | 701 V (= 1-4-13) | | 2 年後期 必修、専門科目 | | | |
|------------------------|---|----------------|--|--|--|--|
| 担当者 | 中島 航 | 受業形態 | 演習 | | | |
| 授業概要 | 単位数 1単位 | | | | | |
| 到達目標 | 法要の概要や目的を理解することができる。 協働して法要を勤めることができるようになる。 | | | | | |
| 学習成果の 評価基準 | 「法要概要や目的を理解することができる」の達成度を測るために、到達度確認テスト 授業での積極的なグループ活動(法要の企画、学習、準備など)を「受講態度」の評価で ができるようになる」の達成度を測る。 | (期末レī とし、「† | ポート)を実施し評価する。 協働して法要を勤めることが | | | |
| | 授業計画(授業内容) | | 授業時間外学習 予習・復習 | | | |
| 1 . | ガイダンス 概要の確認と係の決定 | 予習 復習 分) | 習:シラバスを読む(30分) 習:授業の内容を振り返る(30 | | | |
| 2 . | 事前準備 法要の企画を行う(1) | 予習 | 習:係ごとの話し合い(30分) 習:授業の内容を振り返る(30 | | | |
| 3 . | 事前準備 法要の企画を行う(2) | 予習 | 習:係ごとの話し合い(30分) 習:授業の内容を振り返る(30) | | | |
| 4 . | 事前準備 法要の学習を考える(1) | 予習 | 習:係ごとの話し合い(30分) 習:授業の内容を振り返る(30 | | | |
| 5 . | 事前準備 法要の学習を考える(2) | 予習 | 習:係ごとの話し合い(30分) 習:授業の内容を振り返る(30) | | | |
| 6 . | 事前準備 勤行の練習をする(1) | 予習 | 習:係ごとの話し合い(30分) 習:授業の内容を振り返る(30 | | | |
| 7 . | 事前準備 勤行の練習をする(2) | 予習 | 習:係ごとの話し合い(30分) 習:授業の内容を振り返る(30 | | | |
| 8 . | 事前準備 勤行の練習をする(3) | 予習 | 習:係ごとの話し合い(30分) 習:授業の内容を振り返る(30 | | | |
| 9. | 事前準備 法要の準備を行う(1) | 予習 | 習:係ごとの話し合い(30分) 習:授業の内容を振り返る(30 | | | |
| 10 . | 事前準備 法要の準備を行う(2) | 予習 | 習:係ごとの話し合い(30分) 習:授業の内容を振り返る(30 | | | |
| 11 . | 事前準備 法要の準備を行う(3) | 予習 | 習:係ごとの話し合い(30分) 習:授業の内容を振り返る(30 | | | |
| 12 . | 事前準備 法要のリハーサルを行う | 予習 | 3:係ごとの話し合い(30分) 3:授業の内容を振り返る(30) | | | |
| 13 . | 仏教学科報恩講(冬の法要) 讃歌(真宗宗歌、回向、恩徳讃)、勤行(「正信偈」真四句目下、念仏讃 五淘)、学習 表、法話など | 予習 発 構を | 3:冬の法要の要項をもとに準 5行う(30分) 復習:授業の 8を振り返る(30分) | | | |
| 14 . | 仏教学科報恩講(冬の法要) 讃歌(真宗宗歌、回向、恩徳讃)、勤行(「正信偈」真四句目下、念仏讃 五淘)、学習 表、法話など | 予習 発 構を | 留:冬の法要の要項をもとに準 E行う(30分) 復習:授業の Fを振り返る(30分) | | | |
| 15 . | 事後総括 法要を総括する | 予習 分) | 留: 冬の法要を振り返る(30 復習:授業の内容を振り返 (30分) | | | |
| 教科書 | なし | <u> </u> | | | | |
| 参考書 | 適宜、資料を配布する | | | | | |
| <u>評価方法</u> 特記すべき | 受講態度(70%) その他【期末レポート】(30%) | | | | | |
| 事 項 質問・相談等 の 受 付 | 授業前後に、授業場所あるいは学修支援室にて受け付ける また、電話、メール等でも受け付ける | | | | | |

| 科目 | | 教化学演習 | 開講時期 履修方法 | 明 2年前期 法 選択、専門科目 |
|----------------------------------|--------------------|---|----------------------------------|--|
| 担当者 | | 中島 航 | 授業形! | |
| 授業概要 | る。 前期は、法話とは何なの | かけてくるお聖教の言葉 (法語) についか、どのような内容なのか、そして、法成果 (5) に対応する。 | | |
| 到達目標 | 一法話の聞き手、さらには | 稿を考えて法話を行うことができる。日 普段、僧侶として接する目の前の人の気 | 々の学びを法話として表現でき 持ちを理解し、考える力を身に | きるようになる。 こつけることができる。 |
| 学習成果の 評価基準 | | ぱートの提出、授業中やグループワークに 『習(学内で法話の実施)においても評価 | おける積極的な参加をもって する。 | 「授業態度」の評価とする。 |
| | | 授業計画(授業内容) | _ | 授業時間外学習 予習・復習 |
| 1 . | ガイダンス 授業概要の | オリエンテーション | 30 | 習:法話とは何か考えてみる ()分) 習:授業の振り返り (30分) |
| 2 . | 法話とは何かを学ぶ | 「教化とは」 : 吉元信暁 | ਤ 30 | ・習:法話について考えておく ()分) |
| 3 . | 法話とは何かを学ぶ | 「自信教人信とは」: 吉元信暁 | ਤ 30 | 習:授業の振り返り(30分) 7習:法話について考えておく(9分) |
| 4 . | 法話について考える座談 | (グループワーク) | ਤੋ 30 | 習:授業の振り返り(30分) 習:法話について考えておく(0分) |
| 5. | 法話を聞く 1 - | 学外に法話を聞きに行く(鸞音忌法要 | · : 光善寺) | 習:授業の振り返り(30分) 習:法話について考えておく(0分) |
| 6. | 法話を聞く 1 - | 学外に法話を聞きに行く(鸞音忌法要 | 三: 光善寺) | 習:授業の振り返り(30分) 予習:法話について考えておく(0分) 記習:授業の振り返り(30分) |
| 7. | 法話を聞く 2 - | 学外に法話を聞きに行く(教区定例法 | i話など) 子 30 | ⁷ 習:法話について考えておく(0分) |
| 8 . | 法話を聞く 2- | 学外に法話を聞きに行く(教区定例法 | 話など) 予 30 | 習: 授業の振り返り(30分) 習: 法話について考えておく(の: 33 : 15 : 15 : 15 : 15 : 15 : 15 : 15 |
| 9 . | 法話原稿作成に関するオ | リエンテーション | 子 30 | 理:授業の振り返り(30分) 習:法話について考えておく(0分) |
| 10 . | 法話原稿作成 | 法話の題材である「白骨の御文」を: | 学ぶ 30 | 2習:授業の振り返り(30分) 2習:法話について考えておく(0分) |
| 11 . | 法話原稿作成 | 法話実習の原稿を考える | ਤ 30 | 習:授業の振り返り(30分) ・習:法話について考えておく(0分) |
| 12 . | 法話原稿作成 | 法話実習の原稿を考える | ਤ 30 | 習: 授業の振り返り(30分) 7習: 法話について考えておく(0分) |
| 13 . | 法話実習のリハーサル | 学内でリハーサルをする:吉元信暁 | ਤ 30 | 習: 授業の振り返り(30分) 習: 法話について考えておく(0分) |
| 14 . | 法話実習 | 学内で法話を実施する : 吉元信暁 | 子 30 | 図:授業の振り返り(30分) 図:法話について考えておく(図分) |
| 15 . | 法話実習の振り返り | 法話実習を振り返る座談 | 子 30 | 2習:授業の振り返り(30分) 2習:法話について考えておく(2分) 3習:短業の振り返り(20分) |
| 教科書 | 『真宗聖典』 | | | 習:授業の振り返り(30分) |
| 参考書 | | 14年1次執力と、7706人、 当中士士年33年 | 唇疸炸朮(2004) | |
| 字習成果の <u>評 価 方 法</u> 特記すべき | | り組み姿勢など)(70%) 学期末法話実習の | l水何TFDX(3Uが) | |
| 事項 | | | | |

| 科目 | 教化学演習 | 開講時期 履修方法 | 2年後期 選択、専門科目 |
|-----------------|--|------------------|--|
| 担当者 | 中島・航 | 授業形態 単位数 | 演習 1単位 |
| | 法話とは、私たちに語りかけてくるお聖教の言葉 (法語)について、自分の体験を通しる。 | て他人にも | 5分かる言葉で話すことであ |
| 授業概要 | る。 後期の学びは、2回ある法話実習への準備が中心となる。寺院での法話実習や、仏教学科 クティブラーニングを実施する。本授業は仏教学科の学習成果(5)に対応する。 | 報恩講で | の法話など、より実践的なア |
| 到達目標 | 法話とは何かを知り、原稿を考えて法話を行うことができる。日々の学びを法話として「目の前の人に向き合ううえで大切なことは何か」ということを考えて、人と関わる力 | 表現できる を身につl | るようになる。 けることができる。 |
| 学習成果の 評価基準 | 授業の事前準備や小レポートの提出、授業中やグループワークにおける積極的な参加を また寺院法話実習(近隣寺院で法話実施)の準備、原稿提出についても評価する。 学期末レポート試験(「冬の法要」法話原稿提出)。 | もって「扌 | 受業態度」の評価とする。 |
| | 授業計画(授業内容) | | 授業時間外学習 予習・復習 |
| 1 . | 法話基礎実習 の振り帰り : 吉元信暁 | 予習 復習 | : 前期を振り返る (30分) 3:授業の振り返り (30分) |
| 2. | 法話原稿作成 後期の法話作成についてのオリエンテーション | 分) | 3:法話について考える(30 3:授業の振り返り(30分) |
| 3. | 法話を聞く 動画視聴を通して法話を聞く | 予習 分) | 習:法話について考える(30 |
| 4 . | 座談(法話を聞いて感じたことを話し合う) | 予習 分 <u>)</u> | 習:法話について考える(30 |
| 5. | 法話原稿作成 寺院法話実習での法話原稿を作成する | 予習 分) | 3:授業の振り返り(30分) 3:法話について考える(30 3:授業の振り返り(30分) |
| 6. | 法話原稿作成 寺院法話実習での法話原稿を作成する | 予習 | - : 技業の派り返り (30分) 習:法話について考える (30 図:授業の振り返り (30分) |
| 7. | 法話の発声、立ち振る舞いを学ぶ : ゲストスピーカー 表現学科の教員より発声、話し方、立ち振る舞いを学ぶ | 予習 分) | 習:法話について考える(30 |
| 8. | 寺院法話実習 近隣の寺院で法話を実施する | 予習 分) | 習:法話について考える(30 |
| 9 . | 寺院法話実習 近隣の寺院で法話を実施する | 予習 分) | 習:法話について考える(30 |
| 10 . | 法話実習(近隣寺院)の振り返り | 구길 | : 技話について考える(30 冒: 授業の振り返り(30分) |
| 11 . | 法話原稿作成 仏教学科報恩講での法話原稿を作成する | 予習 | : ix来の旅り返り (30分) 記: 法話について考える (30 記: 授業の振り返り (30分) |
| 12 . | 法話原稿作成 | 予習分) | 3:10条の派り返り(30分) 習:法話について考える(30 習:授業の振り返り(30分) |
| 13 . | 法話原稿作成 | 予習 分 <u>)</u> | 習:法話について考える(30 |
| 14 . | 法話実習(「仏教学科報恩講」の法話)リハーサル :吉元信暁 | 予習分) | 習:授業の振り返り(30分) 習:法話について考える(30 習:授業の振り返り(30分) |
| 15 . | 法話実習(「仏教学科報恩講」の法話) リハーサル : 吉元信暁 | 予習 分) | 習:法話について考える(30 |
| 教科書 | 『真宗聖典』 | | |
| 参考書 | 恒光能序(MOM) 土贮注纸中羽。亦维供(2001) 「// 勃兴到却用维 元亦注纸件(2001) | | |
| <u>評価方法</u> | 授業態度(40%) 寺院法話実習への準備(30%) 「仏教学科報恩講」での法話準備(30%) 「仏教学科報恩講」当日は、当授業ではなく「教化学実習」の出席とする。 | | |
| 事項 | | | |
| 質問・椎凝等 の 受 付 | 随時受け付ける。 | | |

| 科目 | 課題研究 | 開講時期 履修方法 | 2年前期 選択、専門科目 |
|--------------------------------------|---|---|---|
| 担当者 | 青木 玲 | 授業形態 単位数 | 演習 1単位 |
| 授業概要 | 卒業論文の提出に向けて、自らの課題を明確にする。前期は、卒業論文の中間本授業は仏教学科の学習成果(5)に対応する。 | 聞発表を目標に、授 勤 | 後の中で発表を行う。 |
| 到達目標 | 自らの課題を明確にし、7月に卒業論文の中間発表を行う。 本授業によって、仏教学科の学習成果(5)を得ることができる。 | | |
| 学習成果の 評価基準 | 授業内での発表を「授業内発表」の評価とする。 | | |
| | 授業計画(授業内容) | | 授業時間外学習 予習・復習 |
| 1. | 授業概要 | 分) | 3:「授業要覧」を読む(30 |
| 2. | レジュメの作り方 | - 予習 - 予習 - 復習 | : 発表の準備をする(30分) : 授業を振り返り、疑問点を する(30分) |
| 3. | 発表・質疑応答 | - 予習 - 一 一 予習 - 一 復習 | 2: 発表の準備をする(30分) 習: 授業を振り返り、疑問点を 認する(30分) |
| 4 . | 発表・質疑応答 | 予習 復習 | 3.2 0、5007 3:発表の準備をする(30分) 3:授業を振り返り、疑問点を 3する(30分) |
| 5. | 発表・質疑応答 | - 予習 - 一 予習 復習 | 冒:発表の準備をする(30分) 冒:授業を振り返り、疑問点を |
| 6. | 発表・質疑応答 | 予習 復習 | 3する(30分) 3:発表の準備をする(30分) 3:大人(20人) |
| 7 . | 発表・質疑応答 | 予 一 一 一 一 一 一 一 一 一 | 3する(30分) 3:発表の準備をする(30分) 3:2:2、2000) 3:2:2、2000) |
| 8. | 発表・質疑応答 | 予 習 復習 | 3する(30分) 3:発表の準備をする(30分) 3:大きなのか。 3:大きなのか。 |
| 9. | 発表・質疑応答 | 予習 多 習 | 3する(30分) 3:発表の準備をする(30分) 3:授業を扱う返り、疑問点を |
| 10 . | | - 予習 - 一 予習 復習 | 3する(30分) 3:発表の準備をする(30分) 3:大変ののでは、疑問点を |
| 11 . | | 予習 復習 | 3する(30分) 3:発表の準備をする(30分) 3:授業を振り返り、疑問点を |
| 12 . | | - 予習 - 一 予習 復習 | 3する(30分) 3:発表の準備をする(30分) 3:授業を振り返り、疑問点を |
| 13 . | 発表・質疑応答 | 予習 復習 | 3する(30分) 3:発表の準備をする(30分) 3:授業を振り返り、疑問点を |
| 14 . | | 予習 一 復習 | 3する(30分) :発表の準備をする(30分) :授業を振り返り、疑問点を |
| 15 . | 卒業論文中間発表 | 予習 2 | 3する(30分) 3:発表の準備をする(30分) 3:授業を終う返り、疑問点を |
| 教科書 | 『真宗聖典』 | 確認 | 3する(30分) |
| 参考書 | □ 達能庁 (F00k) 「四类内水丰 (F00k) | | |
| 学習成果の <u>評価方法</u> 持記すべき 事 項 | 受講態度(50%) 授業内発表(50%) | | |
| <u>サー・児</u> 賀問・椎族等 の 受 付 | | | |

| 科目 | 課題研究 | 開講時期履修方法 | 2年後期 選択、専門科目 |
|--------------------------------|---|-------------------|--|
| 担当者 | 青木 玲・中島 航 | | 演習 1単位 |
| 授業概要 | 卒業論文の内容を明確にすることを目標に発表を行う。 本授業は仏教学科の学習成果(5)に対応する。 | T-123A | 1 |
| 到達目標 | 11月に卒業論文の発表を行い、1月には卒業論文を提出する。 本授業によって、仏教学科の学習成果(5)を得ることができる。 | | |
| 学習成果の 評価基準 | 授業内での発表を「授業内発表」の評価とする。 | | |
| | 授業計画(授業内容) | | 授業時間外学習 予習・復習 |
| 1 . | 授業概要 | 予習 復習 確認 | : 発表の準備をする(30分) 3:授業を振り返り、疑問点を 3する(30分) |
| 2 . | 発表・質疑応答 | 予習 (| 習:発表の準備をする(30分) 習:授業を振り返り、疑問点を |
| 3 . | 発表・質疑応答 | 予習 一 復習 | 3する(30分) 3:発表の準備をする(30分) 3:授業を振り返り、疑問点を |
| 4 . | 発表・質疑応答 | 予習 (| 3する(30分) 3:発表の準備をする(30分) 3:授業を振り返り、疑問点を |
| 5 . | 発表・質疑応答 | 予習 | 3する(30分) 3:発表の準備をする(30分) 3:授業を振り返り、疑問点を |
| 6 . | 発表・質疑応答 | 予習 (| 3する(30分) 3:発表の準備をする(30分) 3:発表の準備をする(30分) 3:投資を扱うという。 3:2000000000000000000000000000000000000 |
| 7. | 発表・質疑応答 | 予習 を 習 | 3する(30分) 3:発表の準備をする(30分) 3:共2(20人) 3:共2(20人) |
| 8 . | 発表・質疑応答 | 予習 (| 3する(30分) 3:発表の準備をする(30分) 3:授業を振り返り、疑問点を 3する(30分) |
| 9 . | 発表・質疑応答 | 予習 多 習 | 393 (30万) 冒:発表の準備をする(30分) 冒:授業を振り返り、疑問点を 3する(30分) |
| 10 . | 発表・質疑応答 | 予習 (| 39 0 (30分) 冒:発表の準備をする(30分) 冒:授業を振り返り、疑問点を 忍する(30分) |
| 11 . | 発表・質疑応答 | 予習 (復習 | 39つ(30カ) 冒:発表の準備をする(30分) 冒:授業を振り返り、疑問点を Bする(30分) |
| 12 . | 発表・質疑応答 | 予習 復習 | 冒:発表の準備をする(30分) 冒:授業を振り返り、疑問点を |
| 13 . | 発表・質疑応答 | 予習 (復習 | 3する(30分) 3:発表の準備をする(30分) 3:授業を振り返り、疑問点を |
| 14 . | | 予習 (復習 | 3する(30分) 3:発表の準備をする(30分) 3:授業を振り返り、疑問点を |
| 15 . | 卒業論文発表 | 予習 復習 | 3する(30分) 3:発表の準備をする(30分) 3:授業を振り返り、疑問点を 3する(30分) |
| 教科書 | 『真宗聖典』 | 知度が | |
| 参考書 | 受講態度(50%) 授業内発表(50%) | | |
| 学師(未の) 評価方法 特記すべき 事 項 | | | |
| 野・棋等 の 受 付 | | | |

| 科目 | | 開講時期 履修方法 | 2 年後期 必修、専門科目 | | |
|---------------|--|--------------|------------------|--|--|
| 担当者 | | 授業形態 単位数 | 1畄位 | | |
| 授業概要 | 単位数 1単位 1単位 1単位 1単位 1単位 1単位 1単位 1単位 1単位 2単位 2単 | | | | |
| 到達目標 | 自分自身の仏教の受け止めを、誤りなく正確に論述することができるようになる。 | | | | |
| 学習成果の 評価基準 | 論文の内容と口頭試問によって、読解力、思考力、表現力、コミュニケーション能力の | 達成度を判 | 断評価する(各25%)。 | | |
| | 授業計画(授業内容) | | 授業時間外学習 | | |
| 1 . | | | 予習・復習 | | |
| 2 . | | | | | |
| 3 . | | | | | |
| J , | | | | | |
| 4 . | | | | | |
| 5. | | | | | |
| 6. | | | | | |
| 7. | | | | | |
| 8 . | | | | | |
| 9 . | | | | | |
| 10 . | | | | | |
| 11 . | | | | | |
| 12 . | | | | | |
| 13 . | | | | | |
| 14 . | | | | | |
| 15 . | | | | | |
| 教科書 | | | | | |
| 参考書 | | | | | |
| 学習成果の評価方法 | 卒業論文提出と口頭試問 | | | | |
| 特記すべき事項 | 読解力、思考力、表現力、コミュニケーション能力を磨くように努めること | | | | |
| | 課題研究の授業、その他随時受け付ける | | | | |